

## 観光社会資本の事例

テーマ	富士山を背後に構えた海岸
<b>【施設の状況写真】</b>	
	
<p>背後には雄大なる富士山が姿を見せ、堤防背後には豊かな松林が連なっています。</p>	<p>駿河湾の奥に位置する富士海岸は、富士川から狩野川までの富士の南裾野に広がる延長約19 kmの海岸です。</p>
<b>【施設の利用写真】</b>	
	
<p>夏には富士海岸唯一の海水浴場として、多くの人々から親しまれ、賑わいを見せています。</p>	<p>階段状に整備された千本浜の堤防は海水浴時期はもとより日頃から訪れる家族連れなども見られます。</p>
<b>【観光資源としての利用状況】</b>	
<p>富士海岸は駿河湾の奥に位置し、背後には雄大な富士山が姿を見せ、堤防背後には豊かな松林が連なり、白砂青松の景勝地として、あるいは古来絵画や文学の舞台として古くより多くの人々に親しまれてきました。</p>	
<p>富士海岸唯一の海水浴場として沼津工区にある千本浜は夏の時期には多くの海水浴を楽しむ人で賑わいを見せます。また、堤防は散歩やジョギングなど日常の余暇に利用されています。</p>	

テーマ 富士山を背後に構えた海岸

【社会資本の基礎データ】

- 名称 富士海岸
- 所在地 静岡県沼津市千本～富士市五貫島
- 事業名 直轄海岸保全施設整備事業
- 事業主体 国土交通省
- 事業期間 昭和42年～

【社会資本の役割・効果】

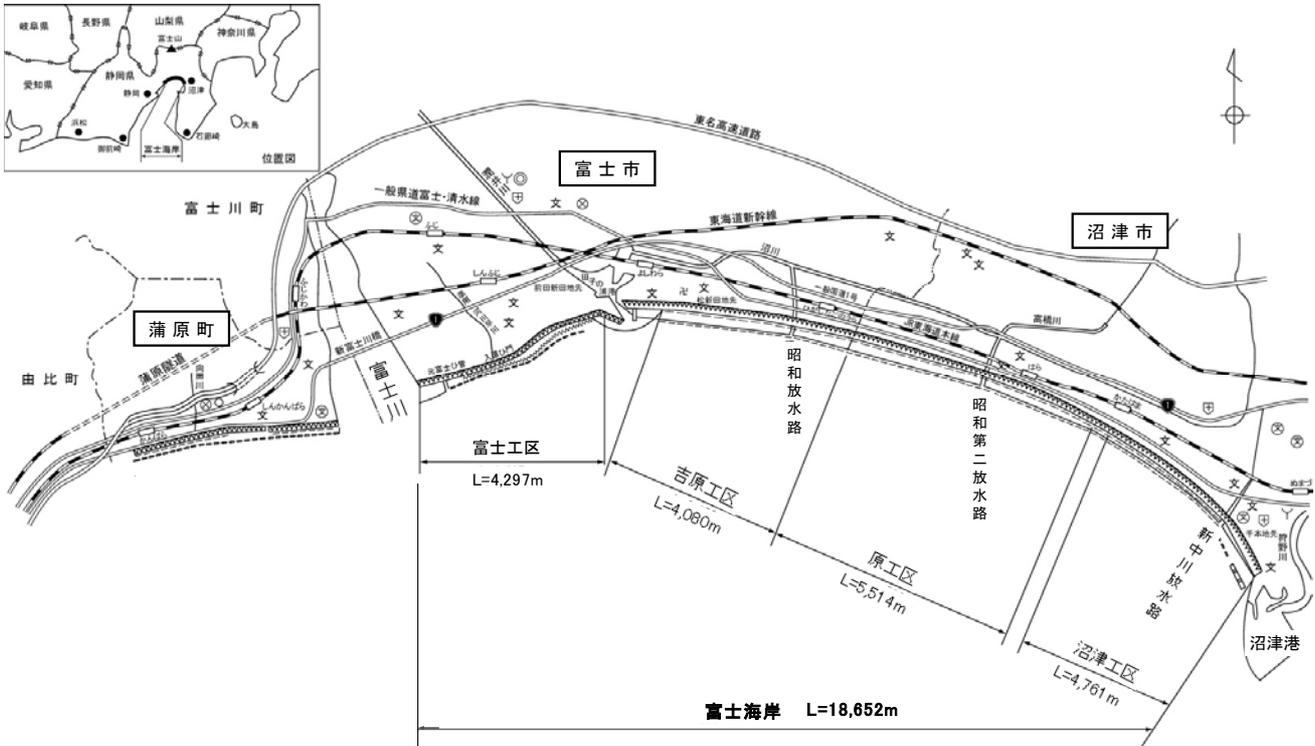
○治水効果

富士海岸は急勾配であり高波が発生しやすい海岸であるため、古くから台風等によって幾度と無く甚大な災害を受けてきました。戦後の主な災害としては、昭和39年の伊勢湾台風、昭和41年の26号台風、昭和54年の20号台風があげられます。

伊勢湾台風後、静岡県によりT.P.+13.0mの高潮堤防を築きましたが、昭和41年26号台風では、吉原工区で越波、富士工区で堤防崩壊という甚大な被害を受けました。

その後、昭和42年に沼津・原・吉原工区、昭和51年に富士工区が国の直轄指定区間として位置付けられ、T.P.+17.0mの高潮堤防が整備されてきました。

【位置図】



【関連ホームページ】

